

平成 20 年（2008 年）告示

# 学習指導要領

## 小学校算数

### Contents

小学校 各教科等の授業時数 .....	1
小学校算数科 改訂のポイント .....	2
小学校算数 内容区分・項目の新旧対照 .....	3
小学校算数 学習指導要領 全文 .....	13
中学校数学科の内容について（改訂案） .....	27
小学校総則 改訂のポイント .....	29
小学校総則 全文 .....	30
小・中学校 総合的な学習の時間 改訂のポイント .....	33
小学校外国語活動のポイント .....	34

※この冊子は、平成 20 年（2008 年）3 月 28 日に文部科学省が告示した学習指導要領，その他関係資料をもとに作成しています。最新の情報につきましては，下記ホームページ等をご参照ください。

・文部科学省 新しい学習指導要領 ホームページ ([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/))

<http://www.shinko-keirin.co.jp/>

啓林館

# 【小学校 各教科等の授業時数】

平成 20 年 3 月 28 日告示より

## 学校教育法施行規則の一部改正後

区	分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科の 授業時数	国語	306	315	245	245	175	175
	社会			70	90	100	105
	算数	136	175	175	175	175	175
	理科			90	105	105	105
	生活	102	105				
	音楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家庭 体育					60	55
道徳の授業時数	102	105	105	105	90	90	
道徳の授業時数	34	35	35	35	35	35	
外国語活動の授業時数					35	35	
総合的な学習の時間 の授業時数			70	70	70	70	
特別活動の授業時数	34	35	35	35	35	35	
総授業時数	850	910	945	980	980	980	

※改正後算数1～6年の授業時数合計は、1011。

(この表の授業時数の1単位時間は、45分とする。)

## 現 行

区	分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科の 授業時数	国語	272	280	235	235	180	175
	社会			70	85	90	100
	算数	114	155	150	150	150	150
	理科			70	90	95	95
	生活	102	105				
	音楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家庭 体育					60	55
道徳の授業時数	90	90	90	90	90	90	
道徳の授業時数	34	35	35	35	35	35	
総合的な学習の時間 の授業時数			105	105	110	110	
特別活動の授業時数	34	35	35	35	35	35	
総授業時数	782	840	910	945	945	945	

※現行算数1～6年の授業時数合計は、869。

(この表の授業時数の1単位時間は、45分とする。)

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着のため、発達や学年の段階に応じた反復(スパイラル)による指導を充実。(複数学年にわたり指導内容を一部重複させるなど)
- 国際的な通用性、内容の系統性の確保や小・中学校の学習の円滑な接続等の観点から必要な指導内容を充実。(図形(合同, 対称など)や数量関係(文字式など)に関する指導の充実など)
- 知識・技能を活用する力を育成し、学ぶことの意義や有用性を実感できるように、数量や図形についての知識・技能を実際の場面で活用する活動などの「算数的活動」を指導内容として学習指導要領に規定。

## (1) 学習内容の改善・充実

### ① 内容構成の見直し等

- ◎ 「数と計算」, 「量と測定」, 「図形」, 「数量関係」の4領域に加え, 新たに(算数的活動)を指導内容として規定。
- ◎ 複数学年にわたり指導内容を一部重複させるなどにより, 基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着。  
(例: 第1学年で簡単な2位数の加減を導入的に扱い, 第2学年で2位数の加減を本格的に指導。第4学年で整数の計算の定着と活用を指導。)

### ② 第1学年及び第2学年

- ◎ (1年) 絵や図を用いた数量の表現, 量の大きさ(面積, 体積など)の比較【H元年】など
- ◎ (2年) 簡単な2位数の乗法(1位数 $\times$ 2位数), 簡単な分数( $1/2$ など)【S43年】など

### ③ 第3学年及び第4学年

- ◎ (3年) 3位数 $\times$ 2位数の乗法【H元年】, 小数や分数の意味と表し方及び加・減【H元年】など
- ◎ (4年) 整数の計算の定着と活用, 同分母分数の加・減【H元年】など

### ④ 第5学年及び第6学年

- ◎ (5年) 素数, 台形の面積【H元年】, 異分母分数の加・減【H元年】, 図形の合同【H元年】など
- ◎ (6年) 小数や分数の計算の定着と活用, 角柱や円柱の体積【H元年】, 拡大図と縮図【H元年】, 対称な図形(線対称, 点対称)【H元年】, 反比例【H元年】, 文字を用いた式【H元年】など

## (2) 言語力の育成・活用の重視

- ◎ 新設の(算数的活動)において, 「言葉, 数, 式, 図を用いたりして考え, 説明する活動」, 「目的に応じて表やグラフを選び, 活用する活動」などを規定。

# 【小学校算数 内容区分・項目の新旧対照】

平成 20 年 3 月 28 日告示より

新規の項目は 枠囲み，学年間などで移行される項目は下線  
(現行項目の配列は，改訂後と比べやすいよう，適宜変更しています。)

		現 行	改訂後
全 体	領域 A 数と計算 B 量と測定 C 図形 D 数量関係(3～6年)		領域 A 数と計算 B 量と測定 C 図形 D 数量関係(1～6年) ※ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1, 2年</span> に新設
			<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">算数的活動</span>

学年	領域等	現 行	改訂後
第 1 学 年	A 数 と 計 算	整数の意味と表し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 数の意味の理解(大小・系列, 基数・序数)</li> <li>• 100 までの数</li> <li>• <u>式による表現, 式のよみ(新「D 数量関係」へ)</u></li> </ul> 整数の加・減 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 位数と 1 位数との加法, その逆の減法</li> </ul>	整数の意味と表し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 数の意味の理解(大小・系列, 基数・序数)</li> <li>• 2 位数</li> <li>• <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">簡単な 3 位数</span></li> <li>• <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">数を十を単位としてみること</span></li> </ul> 整数の加・減 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 位数と 1 位数との加法, その逆の減法</li> <li>• <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">簡単な 2 位数などの加法・減法</span></li> </ul>
	B 量 と 測 定	量の大きさの比較 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 長さの基礎経験</li> </ul>	量の大きさの比較 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 長さ, <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">面積, 体積</span>の基礎経験(任意単位による比較)</li> </ul> 時刻の読み(現行 2 年から)
	C 図 形	身の回りにある立体図形 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 位置の言い表し方(前後, 左右, 上下など)</li> </ul>	身の回りにある立体図形・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">平面図形</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 位置の言い表し方(前後, 左右, 上下など)</li> </ul>
	D 数 量 関 係		式による表現, 式の読み (現行「A 数と計算」から一部) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵や図を用いた数量の表現</span>
	算 数 的 活 動		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ア 具体物をまとめて数える活動</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">イ 計算の意味や計算の仕方を説明する活動</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ウ ものの長さ, 面積, 体積を比べる活動</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エ 形を見付けたり, 作ったりする活動</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オ 場面を式に表したり, 式を具体的な場面に結び付ける活動</span>
	用 語 記 号	一のくらい 十のくらい + - =	一の位 十の位 + - =

学年	領域等	現 行	改訂後	
第 2 学 年	A 数 と 計 算	整数などの表し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3 位数, 4 位数</li> <li>• 数の相対的な大きさ(十や百を単位としてみる)</li> <li>• <u>簡単な表やグラフ(新「D 数量関係」へ)</u></li> </ul> 整数の加・減 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 位数までの加法・その逆の減法</li> <li>• <u>加法・減法の交換法則, 結合法則, 加法と減法の相互関係(新「D 数量関係」へ)</u></li> </ul> 整数の乗法 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 乗法九九</li> <li>• 1 位数と 1 位数の乗法</li> <li>• <u>乗数が 1 ずつ増えるときの積の増え方, 交換法則</u></li> <li>• <u>乗法の式による表現, 式のよみ(新「D 数量関係」へ)</u></li> </ul>	整数などの表し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3 位数, 4 位数, <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1 万</span></li> <li>• 数の相対的な大きさ(十や百を単位としてみる)</li> <li>• <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">簡単な分数(1/2, 1/4 など)</span></li> </ul> 整数の加・減 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 位数の加法, その逆の減法</li> <li>• <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">簡単な 3 位数などの加法・減法</span></li> <li>• 加法・減法の交換法則, 結合法則</li> </ul> 整数の乗法 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 乗法九九</li> <li>• 1 位数と 1 位数の乗法</li> <li>• <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">簡単な 2 位数と 1 位数との乗法</span></li> <li>• 乗数が 1 ずつ増えるときの積の増え方, 交換法則</li> </ul>	
		B 量 と 測 定	量の単位と測定 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 長さの単位(mm, cm, m)</li> </ul> 時刻の読み(新 1 年へ)	量の単位と測定 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 長さの単位(mm, cm, m)</li> <li>• <u>体積の単位(ml, dl, l)(現行 3 年から)</u></li> </ul> 時間の単位(日, 時, 分)(現行 3 年から)
		C 図 形	三角形, 四角形など	三角形, 四角形など <u>正方形, 長方形, 直角三角形(現行 3 年から)</u> <u>箱の形(現行 3 年から)</u>
		D 数 量 関 係		加法と減法の相互関係 <u>乗法の式による表現, 式の読み</u> <u>簡単な表やグラフ</u> (すべて現行「A 数と計算」から)
		算 数 的 活 動		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ア 整数が使われている場面を見付ける活動</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">イ 乗法九九の表からきまりを見付ける活動</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ウ ものの長さや体積を見当付ける活動</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エ 長方形などを作ったり, 敷き詰める活動</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オ 図や式に表し, 説明する活動</span>
		用 語 ・ 記 号	たんい 直線 ×	単位 直線 直角 頂点 辺 面 × <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">&gt;</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">&lt;</span>

新規の項目は「枠囲み」、学年間などで移行される項目は下線  
 (現行項目の配列は、改訂後と比べやすいよう、適宜変更しています。)

学年	領域等	現 行	改訂後
第 3 学 年	A 数 と 計 算	整数の表し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 万の単位</li> <li>• 10 倍, 100 倍, 10 で割った数</li> <li>• 数の相対的な大きさ</li> </ul> 整数の加・減 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3 位数の加法・減法</li> <li>• 交換法則, 結合法則</li> </ul> 整数の乗法 <ul style="list-style-type: none"> <li>• (2 位数, 3 位数) × (1 位数), (2 位数) × (2 位数)</li> <li>• 交換法則, 結合法則, 分配法則</li> </ul> 整数の除法 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 除法の意味, 余りの意味</li> <li>• 除法と乗法や減法との関係</li> <li>• 除数と商が共に 1 位数である除法</li> </ul>	整数の表し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 万の単位, 「1 億」</li> <li>• 10 倍, 100 倍, 1/10 の数</li> <li>• 数の相対的な大きさ</li> </ul> 整数の加・減 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3 位数, 「4 位数」の加法・減法</li> <li>• 交換法則, 結合法則</li> </ul> 整数の乗法 <ul style="list-style-type: none"> <li>• (2 位数, 3 位数) × (1 位数), (2 位数, 「3 位数」) × (2 位数)</li> <li>• 交換法則, 結合法則, 分配法則</li> </ul> 整数の除法 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 除法の意味, 余りの意味</li> <li>• 除法と乗法や減法との関係</li> <li>• 除数と商が共に 1 位数の除法</li> <li>• 「除数が 1 位数で商が 2 位数の除法」</li> </ul> 小数(現行 4 年から) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小数の表し方, 1/10 の位</li> <li>• 1/10 の位までの小数の加法・減法の意味</li> </ul> 分数(現行 4 年から) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 分数の意味と表し方</li> <li>• 簡単な分数の加法・減法</li> <li>• 「簡単な小数と分数の関係」</li> </ul>
	B 量 と 測 定	いろいろな単位と測定 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 長さの単位(km)</li> <li>• 重さの単位(g, kg)</li> <li>• かさの単位(ml, dl, l) (新 2 年へ)</li> </ul> 長さなどの見積もり, 計器の選択 時間の単位(日, 時, 分, 秒) (新 2 年へ) 簡単な時刻や時間の計算	いろいろな単位と測定 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 長さの単位(km)</li> <li>• 重さの単位(g, kg, 「t」)</li> </ul> 長さ・重さの見積もり, 計器の選択 時間の単位(秒) 簡単な時刻や時間の計算
	C 図 形	箱の形(新 2 年へ) 正方形, 長方形, 直角三角形, 敷き詰め (新 2 年へ)	図形の観察(現行 4 年から) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 二等辺三角形, 正三角形</li> <li>• 角</li> <li>• 円, 球(中心, 半径, 直径)</li> </ul>

学年	領域等	現 行	改訂後
第3学年	D 数量関係	資料の分類整理 ・棒グラフのよみ方・かき方	除法場面の式による表現，式の読み (現行「A 数と計算」から一部) 数量の関係を表す式 ・式と図の関連付け ・□などを使った式 資料の分類整理 ・棒グラフの読み方，かき方
	算数的活動		ア 計算の意味や仕方を説明する活動 イ 小数や分数の大きさを比べる活動 ウ 単位の関係を調べる活動 エ 二等辺三角形や正三角形を作図する活動 オ 資料を分類整理し，表を用いて表す活動
	用語・記号	等号 直角 ÷	等号 不等号 小数点 1/10 の位 数直線 分母 分子 ÷

新規の項目は「枠囲み」、学年間などで移行される項目は下線  
(現行項目の配列は、改訂後と比べやすいよう、適宜変更しています。)

学年	領域等	現 行	改訂後
第 4 学 年	A 数 と 計 算	整数の表し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>億,兆の単位,十進位取り記数法のまとめ 概数(四捨五入)</li> </ul> 整数の除法 <ul style="list-style-type: none"> <li>(2位数,3位数)÷(1位数,2位数)</li> <li>被除数,除数,商・余りの間の関係</li> <li>除法に関して成り立つ性質</li> </ul> 小数 <ul style="list-style-type: none"> <li>数の相対的な大きさ</li> <li>小数の表し方,1/10の位(新3年へ)</li> <li>1/10の位までの小数の加法・減法(新3年へ)</li> </ul> 分数(新3年へ) <ul style="list-style-type: none"> <li>分数の意味と表し方</li> <li>簡単な分数の加法・減法</li> </ul>	整数の表し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>億,兆の単位,十進位取り記数法のまとめ 概数(四捨五入)</li> <li>四則計算の見積り(現行5年,6年から)</li> </ul> 整数の除法 <ul style="list-style-type: none"> <li>(2位数,3位数)÷(1位数,2位数)</li> <li>被除数,除数,商・余りの間の関係</li> <li>除法に関して成り立つ性質</li> </ul> 整数の四則計算の定着と活用           小数とその計算 <ul style="list-style-type: none"> <li>小数・整数の仕組み,数の相対的な大きさ</li> <li>小数の加法・減法</li> <li>(小数)×(整数),(小数)÷(整数)(現行5年から一部)</li> </ul> 分数とその計算(現行5年から) <ul style="list-style-type: none"> <li>大きさの等しい分数</li> <li>同分母分数の加法・減法</li> </ul> そろばんによる加法・減法
	B 量 と 測 定	面積 <ul style="list-style-type: none"> <li>面積の単位(<math>\text{cm}^2</math>, <math>\text{m}^2</math>, <math>\text{km}^2</math>)</li> <li>正方形・長方形の面積</li> </ul> 角の大きさ <ul style="list-style-type: none"> <li>回転の大きさとしての角の大きさ</li> <li>角度の単位(度<math>^\circ</math>)</li> </ul>	面積 <ul style="list-style-type: none"> <li>面積の単位(<math>\text{cm}^2</math>, <math>\text{m}^2</math>, <math>\text{km}^2</math>, a, ha)</li> <li>正方形・長方形の面積</li> </ul> 角の大きさ <ul style="list-style-type: none"> <li>回転の大きさとしての角の大きさ</li> <li>角度の単位(度<math>^\circ</math>)</li> </ul>
	C 図 形	基本的な図形(新3年へ) <ul style="list-style-type: none"> <li>二等辺三角形,正三角形,敷き詰め</li> <li>角</li> <li>円,球(中心,直径,半径)</li> </ul>	平面図形(現行5年から) <ul style="list-style-type: none"> <li>直線の平行・垂直</li> <li>平行四辺形,ひし形,台形</li> </ul> 立体図形(現行6年から) <ul style="list-style-type: none"> <li>立方体,直方体</li> <li>見取図,展開図</li> <li>直線や平面の平行・垂直</li> </ul> 位置の表し方



学年	領域等	現 行	改訂後
第 4 学 年	D 数 量 関 係	伴って変わる二つの数量の関係 式による表現 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 四則混合式, ( )を用いた式, 公式</li> </ul> 資料の分類整理(二つの観点) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 折れ線グラフのよみ方・かき方</li> </ul>	伴って変わる二つの数量の関係 式による表現 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 四則混合式, ( )を用いた式, 公式</li> <li>• □, △などを用いた式</li> </ul> 交換法則, 結合法則, 分配法則 (現行5年から) 資料の分類整理(二つの観点) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 折れ線グラフの読み方・かき方</li> </ul>
	算 数 的 活 動		ア 見積りで計算の仕方や結果を判断する活 動 イ 面積の求め方を説明する活動 ウ 面積を実測する活動 エ 敷き詰めなどにより, 図形の性質を調べ る活動 オ 数量の関係を表やグラフに表し, 調べる 活動
	用語 ・ 記号	和 差 積 商 整数 数直線 小数点 分母 分子 帯分数 真分数 仮分数	和 差 積 商 以上 以下 未満 真分数 仮分数 帯分数 平行 垂直 対角線 平面

新規の項目は「枠囲み」、学年間などで移行される項目は下線  
(現行項目の配列は、改訂後と比べやすいよう、適宜変更しています。)

学年	領域等	現 行	改訂後
第 5 学 年	A 数 と 計 算	整数の性質(偶数, 奇数)  10 倍, 100 倍, 1/10, 1/100 などの数 小数の計算 <ul style="list-style-type: none"> <li>• (小数) × (整数, 小数), (小数) ÷ (整数, 小数)</li> <li>• 余りの大きさ</li> </ul> 分数の計算 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 整数・小数と分数の関係</li> <li>• 大きさの等しい分数(新 4 年へ)</li> <li>• 同分母分数の加法・減法(新 4 年へ)</li> </ul>	整数の性質(偶数・奇数, <u>約数・倍数</u> , <u>素数</u> ) (現行 6 年から)  10 倍, 100 倍, 1/10, 1/100 などの数 小数の計算 <ul style="list-style-type: none"> <li>• (整数, 小数) × (小数), (整数, 小数) ÷ (小数)</li> <li>• 余りの大きさ</li> <li>• <u>小数の乗法・除法に関する法則</u></li> </ul> 分数の計算 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 整数・小数と分数の関係</li> <li>• <u>分数の相等・大小(現行 6 年から)</u></li> <li>• <u>異分母分数の加法・減法(現行 6 年から)</u></li> <li>• <u>(分数) × (整数), (分数) ÷ (整数)(現行 6 年から一部)</u></li> </ul>
	B 量 と 測 定	面積 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 三角形, 平行四辺形の面積</li> <li>• <u>円の面積(新 6 年へ)</u></li> </ul>	面積 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 三角形, 平行四辺形, <u>ひし形, 台形</u>の面積</li> </ul> 体積(現行 6 年から) <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>体積の単位 (cm<sup>3</sup>, m<sup>3</sup>)</u></li> <li>• 立方体・直方体の体積</li> </ul> <u>測定値の平均</u> 単位量当たりの大きさ(現行 6 年から一部)
	C 図 形	平面図形 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>直線の平行, 垂直(新 4 年へ)</u></li> <li>• <u>平行四辺形, 台形, ひし形, 敷き詰め(新 4 年へ)</u></li> <li>• 基本的な図形の簡単な性質</li> <li>• 円周率</li> </ul>	平面図形 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 多角形や<u>正多角形</u> (現行中 1 から)</li> <li>• <u>図形の合同</u> (現行中 1 から一部)</li> <li>• 図形の性質</li> <li>• 円周率</li> </ul> 立体図形 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>角柱や円柱(現行 6 年から)</u></li> </ul>
	D 数 量 関 係	<u>交換法則, 結合法則や分配法則(新 4 年へ)</u> 二つの数量の変わり方 百分率, 歩合 資料の分類整理(円グラフ, 帯グラフ)	<u>簡単な比例</u> 二つの数量の対応や変わり方 百分率, 歩合 資料の分類整理(円グラフ, 帯グラフ)

学年	領域等	現 行	改訂後
第5学年	算数的活動		<u>ア</u> 小数の計算の意味や仕方を説明する活動 <u>イ</u> 三角形などの面積の求め方を説明する活動 <u>ウ</u> 合同な図形をかいたり，作ったりする活動 <u>エ</u> 内角の和などを演繹的に考え，説明する活動 <u>オ</u> 目的に応じて表やグラフを選び，活用する活動
	用語・記号	<u>平行</u> <u>垂直</u> <u>対角線</u> %	<u>最大公約数</u> <u>最小公倍数</u> <u>通分</u> <u>約分</u> <u>底面</u> <u>側面</u> <u>比例</u> %

新規の項目は **枠囲み**，学年間などで移行される項目は下線  
 (現行項目の配列は，改訂後と比べやすいよう，適宜変更しています。)

学年	領域等	現 行	改訂後
第 6 学 年	A 数 と 計 算	分数の計算 ・ (分数) × (整数, 分数), (分数) ÷ (整数, 分数) (新5年へ) ・ 分数の相等・大小(新5年へ) ・ 異分母分数の加法・減法(新5年へ) 整数の性質(約数, 倍数)(新5年へ)	分数の計算 ・ (整数, 分数) × (分数), (整数, 分数) ÷ (分数) ・ <b>逆数</b> ・ <b>分数の乗法・除法に関する法則</b> 小数, 分数の計算の定着と活用
	B 量 と 測 定	概形とおよその面積など 体積の単位 (cm <sup>3</sup> ) (新5年へ) 立方体・直方体の体積(新5年へ) 速さ 単位量当たりの大きさ(新5年へ)	概形とおよその面積など 円の面積(現行5年から) 角柱・円柱の体積 (現行中1から) 速さ メートル法の単位の仕組み
	C 図 形	立方体・直方体(新5年へ) 直線や平面の平行・垂直の関係(新5年へ) 三角柱, 四角柱など(新5年へ)	縮図・拡大図 (現行中3から) 対称な図形(線対称, 点対称) (現行中1から)
	D 数 量 関 係	比 伴って変わる二つの数量 ・ 比例(表, グラフ) 平均	比 伴って変わる二つの数量 ・ 比例( <b>式</b> , 表, グラフ) ・ <b>比例を用いた問題解決</b> ・ <b>反比例</b> (現行中1から一部) <b>a, x</b> などの文字を用いた式 (現行中1から一部) 資料の平均 度数分布を表す表やグラフ 起こり得る場合の数 (現行中2から)
	算 数 的 活 動		ア 分数の計算の意味や仕方を説明する活動 イ 単位の関係を調べる活動 ウ 縮図や拡大図, 対称な図形を見付ける活 動 エ 比例の関係をを用いて問題を解決する活動
	用 語 ・ 記 号	最大公約数 最小公倍数 約分 通分 平面 底面 側面 :	線対称 点対称 :



各学年の内容、内容の取扱いのうち、新規の項目には $\boxed{\text{枠囲み}}$ 、学年間などで移行される項目には下線をつけています。  
(上記以外の変更には、印をつけていません。)

## 第 3 節 算 数

### 第 1 目 標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

### 第 2 各学年の目標及び内容

#### 〔第 1 学年〕

#### 1 目 標

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。
- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。

#### 2 内 容

##### A 数と計算

- (1) ものの個数を数えることなどの活動を通して、数の意味について理解し、数を用いることができるようにする。
  - ア ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べること。
  - イ 個数や順番を正しく数えたり表したりすること。
  - ウ 数の大小や順序を考えることによって、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすること。
  - エ 一つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係付けてみること。
  - オ 2 位数の表し方について理解すること。
  - $\boxed{\text{カ 簡単な場合について、3 位数の表し方を知ること。}}$
  - $\boxed{\text{キ 数を十を単位としてみること。}}$
- (2) 加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。
  - ア 加法及び減法が用いられる場合について知ること。

イ 1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え、それらの計算が確実にできること。

ウ 簡単な場合について、2位数などの加法及び減法の計算の仕方を考えること。

## B 量と測定

(1) 大きさを比較するなどの活動を通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を豊かにする。

ア 長さ、面積、体積を直接比べること。

イ 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つかで大きさを比べること。

(2) 日常生活の中で時刻を読むことができるようにする。

## C 図形

(1) 身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形についての理解の基礎となる経験を豊かにする。

ア ものの形を認めたり、形の特徴をとらえたりすること。

イ 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を正しく用いて、ものの位置を言い表すこと。

## D 数量関係

(1) 加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができるようにする。

(2) ものの個数を絵や図などを用いて表したり読み取ったりすることができるようにする。

### [算数的活動]

(1) 内容の「A数と計算」、「B量と測定」、「C図形」及び「D数量関係」に示す事項については、例えば、次のような算数的活動を通して指導するものとする。

ア 具体物をまとめて数えたり等分したりし、それを整理して表す活動

イ 計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして表す活動

ウ 身の回りにあるものの長さ、面積、体積を直接比べたり、他のものを用いて比べたりする活動

エ 身の回りから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりする活動

オ 数量についての具体的な場面を式に表したり、式を具体的な場面に結び付けたりする活動

### [用語・記号]

一の位 十の位 + - =

## [第2学年]

### 1 目標

(1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方についての理解を深めるとともに、加法及び減法についての理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。

(2) 具体物を用いた活動などを通して、長さや体積などの単位と測定について理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。

(3) 具体物を用いた活動などを通して、三角形や四角形などの図形について理解できるようにし、図形についての感覚を豊かにする。

- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。

## 2 内容

### A 数と計算

- (1) 数の意味や表し方について理解し、数を用いる能力を伸ばす。

ア 同じ大きさの集まりにまとめて数えたり、分類して数えたりすること。

イ 4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解すること。

ウ 数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。

エ 一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けてみること。

オ  $\frac{1}{2}$ ,  $\frac{1}{4}$  など簡単な分数について知ること。

- (2) 加法及び減法についての理解を深め、それらを用いる能力を伸ばす。

ア 2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え、それらの計算が1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、それらの計算が確実にできること。また、それらの筆算の仕方について理解すること。

イ 簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を考えること。

ウ 加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。

- (3) 乗法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

ア 乗法が用いられる場合について知ること。

イ 乗法に関して成り立つ簡単な性質を調べ、それを乗法九九を構成したり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。

ウ 乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできること。

エ 簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考えること。

### B 量と測定

- (1) 長さについて単位と測定の意味を理解し、長さの測定ができるようにする。

ア 長さの単位（ミリメートル(mm)、センチメートル(cm)、メートル(m)）について知ること。

- (2) 体積について単位と測定の意味を理解し、体積の測定ができるようにする。

ア 体積の単位（ミリリットル(ml)、デシリットル(dl)、リットル(l)）について知ること。

- (3) 時間について理解し、それらを用いることができるようにする。

ア 日、時、分について知り、それらの関係を理解すること。

### C 図形

- (1) ものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。

ア 三角形、四角形について知ること。

イ 正方形、長方形、直角三角形について知ること。



ウ 箱の形をしたものについて知ること。

#### D 数量関係

- (1) 加法と減法の相互関係について理解し、式を用いて説明できるようにする。
- (2) 乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができるようにする。
- (3) 身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができるようにする。

#### 〔算数的活動〕

(1) 内容の「A数と計算」、「B量と測定」、「C図形」及び「D数量関係」に示す事項については、例えば、次のような算数的活動を通して指導するものとする。

ア 身の回りから、整数が使われている場面を見付ける活動

イ 乗法九九の表を構成したり観察したりして、計算の性質やきまりを見付ける活動

ウ 身の回りにあるものの長さや体積について、およその見当を付けたり、単位を用いて測定したりする活動

エ 正方形、長方形、直角三角形をかいたり、作ったり、それらで平面を敷き詰めたりする活動

オ 加法と減法の相互関係を図や式に表し、説明する活動

#### 〔用語・記号〕

単位 直線 直角 頂点 辺 面 ×  $>$   $<$

### 3 内容の取扱い

(1) 内容の「A数と計算」の(1)については、1万についても取り扱うものとする。

(2) 内容の「A数と計算」の(2)及び「D数量関係」の(1)については、必要な場合には、( ) や□などを用いることができる。

(3) 内容の「A数と計算」の(2)のウについては、交換法則や結合法則を取り扱うものとする。

(4) 内容の「A数と計算」の(3)のイについては、乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則を取り扱うものとする。

## 〔第3学年〕

### 1 目標

- (1) 加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにする。
- (2) 長さ、重さ及び時間の単位と測定について理解できるようにする。
- (3) 図形を構成する要素に着目して、二等辺三角形や正三角形などの図形について理解できるようにする。
- (4) 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。

### 2 内容

#### A 数と計算

- (1) 整数の表し方についての理解を深め、数を用いる能力を伸ばす。
- ア 万の単位について知ること。
  - イ 10倍、100倍、 $\frac{1}{10}$ の大きさの数及びその表し方について知ること。
  - ウ 数の相対的な大きさについての理解を深めること。
- (2) 加法及び減法の計算が確実にできるようにし、それらを適切に用いる能力を伸ばす。
- ア 3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算が2位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、それらの筆算の仕方について理解すること。
  - イ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。
  - ウ 加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。
- (3) 乗法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。
- ア 2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算の仕方を考え、それらの計算が乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。
  - イ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。
  - ウ 乗法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。
- (4) 除法の意味について理解し、それを用いることができるようにする。
- ア 除法が用いられる場合について知ること。また、余りについて知ること。
  - イ 除法と乗法や減法との関係について理解すること。
  - ウ 除数と商が共に1位数である除法の計算が確実にできること。
  - エ 簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を考えること。
- (5) 小数の意味や表し方について理解できるようにする。
- ア 端数部分の大きさを表すのに小数を用いること。また、小数の表し方及び $\frac{1}{10}$ の位について知ること。
  - イ  $\frac{1}{10}$ の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができること。
- (6) 分数の意味や表し方について理解できるようにする。
- ア 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いること。また、分数の表し方について知ること。
  - イ 分数は、単位分数の幾つか分で表せることを知ること。
  - ウ 簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、計算の仕方を考えること。
- (7) そろばんによる数の表し方について知り、そろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算ができる

ようにする。

ア そろばんによる数の表し方について知ること。

イ 加法及び減法の計算の仕方について知ること。

## B 量と測定

(1) 長さについての理解を深めるとともに、重さについて単位と測定の意味を理解し、重さの測定ができるようにする。

ア 長さの単位（キロメートル(km)）について知ること。

イ 重さの単位（グラム(g), キログラム(kg)）について知ること。

(2) 長さや重さについて、およその見当を付けたり、目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定したりできるようにする。

(3) 時間について理解できるようにする。

ア 秒について知ること。

イ 日常生活の中で必要となる時刻や時間を求めること。

## C 図形

(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。

ア 二等辺三角形、正三角形について知ること。

イ 角について知ること。

ウ 円、球について知ること。また、それらの中心、半径、直径について知ること。

## D 数量関係

(1) 除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができるようにする。

(2) 数量の関係を表す式について理解し、式を用いることができるようにする。

ア 数量の関係を式に表したり、式と図を関連付けたりすること。

イ 数量を□などを用いて表し、その関係を式に表したり、□などに数を当てはめて調べたりすること。

(3) 資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようにする。

ア 棒グラフの読み方やかき方について知ること。

### [算数的活動]

(1) 内容の「A数と計算」、「B量と測定」、「C図形」及び「D数量関係」に示す事項については、例えば、次のような算数的活動を通して指導するものとする。

ア 整数、小数及び分数についての計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動

イ 小数や分数を具体物、図、数直線を用いて表し、大きさを比べる活動

ウ 長さ、体積、重さのそれぞれについて単位の関係を調べる活動

エ 二等辺三角形や正三角形を定規とコンパスを用いて作図する活動

オ 日時や場所などの観点から資料を分類整理し、表を用いて表す活動

〔用語・記号〕

等号 不等号 小数点  $\frac{1}{10}$  の位 数直線 分母 分子 ÷

### 3 内容の取扱い

- (1) 内容の「A数と計算」の(1)については、1億についても取り扱うものとする。
- (2) 内容の「A数と計算」の(2)及び(3)については、簡単な計算は暗算でできるよう配慮するものとする。
- (3) 内容の「A数と計算」の(2)のウについては、交換法則や結合法則を取り扱うものとする。
- (4) 内容の「A数と計算」の(3)については、乗数又は被乗数が0の場合の計算についても取り扱うものとする。
- (5) 内容の「A数と計算」の(3)のウについては、交換法則、結合法則や分配法則を取り扱うものとする。
- (6) 内容の「A数と計算」の(5)及び(6)については、小数の0.1と分数の $\frac{1}{10}$ などを数直線を用いて関連付けて取り扱うものとする。
- (7) 内容の「B量と測定」の(1)のイについては、トン(t)の単位についても触れるものとする。

〔第4学年〕

## 1 目標

- (1) 除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方についての理解を深め、小数及び分数についての加法及び減法の意味を理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにする。
- (2) 面積の単位と測定について理解し、図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの単位と測定について理解できるようにする。
- (3) 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、平行四辺形やひし形などの平面図形及び直方体などの立体図形について理解できるようにする。
- (4) 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり調べたりすることができるようにする。

## 2 内容

### A 数と計算

- (1) 整数が十進位取り記数法によって表されていることについての理解を深める。
  - ア 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についてまとめること。
- (2) 概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにする。
  - ア 概数が用いられる場合について知ること。
  - イ 四捨五入について知ること。
  - ウ 目的に応じて四則計算の結果の見積りをすること。
- (3) 整数の除法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。

ア 除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算の仕方を考え、それらの計算が基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。

イ 除法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。

ウ 除法について、被除数、除数、商及び余りの間の関係を調べ、次の式にまとめること。

$$(\text{被除数}) = (\text{除数}) \times (\text{商}) + (\text{余り})$$

エ 除法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。

(4) 整数の計算の能力を定着させ、それをを用いる能力を伸ばす。

(5) 小数とその加法及び減法についての理解を深めるとともに、小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

ア 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めること。

イ 小数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

ウ 乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

(6) 分数についての理解を深めるとともに、同分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

ア 簡単な場合について、大きさの等しい分数があることに着目すること。

イ 同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

(7) そろばんを用いて、加法及び減法の計算ができるようにする。

## B 量と測定

(1) 面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求めることができるようにする。

ア 面積の単位（平方センチメートル( $\text{cm}^2$ )、平方メートル( $\text{m}^2$ )、平方キロメートル( $\text{km}^2$ ))について知ること。

イ 正方形及び長方形の面積の求め方を考えること。

(2) 角の大きさについて単位と測定の意味を理解し、角の大きさの測定ができるようにする。

ア 角の大きさを回転の大きさとしてとらえること。

イ 角の大きさの単位（度( $^\circ$ ))について知ること。

## C 図形

(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し、図形についての理解を深める。

ア 直線の平行や垂直の関係について理解すること。

イ 平行四辺形、ひし形、台形について知ること。

(2) 図形についての観察や構成などの活動を通して、立体図形について理解できるようにする。

ア 立方体、直方体について知ること。

イ 直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解すること。

(3) ものの位置の表し方について理解できるようにする。

#### D 数量関係

(1) 伴って変わる二つの数量の関係を表したり調べたりすることができるようにする。

ア 変化の様子を折れ線グラフを用いて表したり，変化の特徴を読み取ったりすること。

(2) 数量の関係を表す式について理解し，式を用いることができるようにする。

ア 四則の混合した式や ( ) を用いた式について理解し，正しく計算すること。

イ 公式についての考え方を理解し，公式を用いること。

ウ 数量を□，△などを用いて表し，その関係を式に表したり，□，△などに数を当てはめて調べたりすること。

(3) 四則に関して成り立つ性質についての理解を深める。

ア 交換法則，結合法則，分配法則についてまとめること。

(4) 目的に応じて資料を集めて分類整理し，表やグラフを用いて分かりやすく表したり，特徴を調べたりすることができるようにする。

ア 資料を二つの観点から分類整理して特徴を調べること。

イ 折れ線グラフの読み方やかき方について知ること。

#### [算数的活動]

(1) 内容の「A数と計算」，「B量と測定」，「C図形」及び「D数量関係」に示す事項については，例えば，次のような算数的活動を通して指導するものとする。

ア 目的に応じて計算の結果の見積りをし，計算の仕方や結果について適切に判断する活動

イ 長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を，具体物を用いたり，言葉，数，式，図を用いたりして考え，説明する活動

ウ 身の回りにあるものの面積を実際に測定する活動

エ 平行四辺形，ひし形，台形で平面を敷き詰めて，図形の性質を調べる活動

オ 身の回りから，伴って変わる二つの数量を見付け，数量の関係を表やグラフを用いて表し，調べる活動

#### [用語・記号]

和 差 積 商 以上 以下 未満 真分数 仮分数 帯分数 平行 垂直 対角線 平面

### 3 内容の取扱い

(1) 内容の「A数と計算」の(1)については，大きな数を表す際に，3桁ごとに区切りを用いる場合があることに触れるものとする。

(2) 内容の「A数と計算」の(2)のウ，(3)，(4)については，簡単な計算は暗算でできるよう配慮するものとする。また，暗算を筆算や見積りに生かすよう配慮するものとする。

(3) 内容の「A数と計算」の(3)のエについては，除数及び被除数に同じ数をかけても，同じ数で割っても商は変わらないという性質を取り扱うものとする。

(4) 内容の「A数と計算」の(5)のウについては，整数を整数で割って商が小数になる場合も含めるものとする。

(5) 内容の「B量と測定」の(1)のアについては，アール(a)，ヘクタール(ha)の単位についても触れる

ものとする。

(6) 内容の「C図形」の(2)のアについては、見取図や展開図をかくことを取り扱うものとする。

(7) 内容の「D数量関係」の(4)のアについては、資料を調べるときに、落ちや重なりがないようにすることを取り扱うものとする。

## 〔第5学年〕

### 1 目標

- (1) 整数の性質についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法や分数の加法及び減法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 三角形や平行四辺形などの面積及び直方体などの体積を求めることができるようにする。また、測定値の平均及び異種の二つの量の割合について理解できるようにする。
- (3) 平面図形についての理解を深めるとともに、角柱などの立体図形について理解できるようにする。
- (4) 数量の関係を考察するとともに、百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べることができるようにする。

### 2 内容

#### A 数と計算

(1) 整数の性質についての理解を深める。

ア 整数は、観点を決めると偶数、奇数に類別されることを知ること。

イ 約数、倍数について知ること。

(2) 記数法の考えを通して整数及び小数についての理解を深め、それを計算などに有効に用いることができるようにする。

ア 10倍、100倍、 $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ などの大きさの数をつくり、それらの関係を調べること。

(3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。

ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。

ウ 小数の乗法及び除法についても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。

(4) 分数についての理解を深めるとともに、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

ア 整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。

イ 整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解すること。

ウ 一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解すること。

エ 分数の相等及び大小について考え、大小の比べ方をまとめること。

オ 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

カ 乗数や除数が整数である場合の分数の乗法及び除法の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

## B 量と測定

(1) 図形の面積を計算によって求めることができるようにする。

ア 三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の求め方を考えること。

(2) 体積について単位と測定の意味を理解し、体積を計算によって求めることができるようにする。

ア 体積の単位（立方センチメートル( $\text{cm}^3$ )、立方メートル( $\text{m}^3$ ))について知ること。

イ 立方体及び直方体の体積の求め方を考えること。

(3) 量の大きさの測定値について理解できるようにする。

ア 測定値の平均について知ること。

(4) 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方や表し方を理解できるようにする。

ア 単位量当たりの大きさについて知ること。

## C 図形

(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解を深める。

ア 多角形や正多角形について知ること。

イ 図形の合同について理解すること。

ウ 図形の性質を見だし、それを用いて図形を調べたり構成したりすること。

エ 円周率について理解すること。

(2) 図形についての観察や構成などの活動を通して、立体図形について理解できるようにする。

ア 角柱や円柱について知ること。

## D 数量関係

(1) 表を用いて、伴って変わる二つの数量の関係を考察できるようにする。

ア 簡単な場合について、比例の関係があることを知ること。

(2) 数量の関係を表す式についての理解を深め、簡単な式で表されている関係について、二つの数量の対応や変わり方に着目できるようにする。

(3) 百分率について理解できるようにする。

(4) 目的に応じて資料を集めて分類整理し、円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりすることができるようにする。

### [算数的活動]

(1) 内容の「**A**数と計算」、「**B**量と測定」、「**C**図形」及び「**D**数量関係」に示す事項については、例えば、次のような算数的活動を通して指導するものとする。

ア 小数についての計算の意味や計算の仕方を、言葉、数、式、図、数直線を用いて考え、説明する活動

イ 三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の求め方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動



ウ 合同な図形をかいたり、作ったりする活動

エ 三角形の三つの角の大きさの和が $180^\circ$ になることを帰納的に考え、説明する活動。四角形の四つの角の大きさの和が $360^\circ$ になることを演繹<sup>えいぎ</sup>的に考え、説明する活動

オ 目的に応じて表やグラフを選び、活用する活動

[用語・記号]

最大公約数 最小公倍数 通分 約分 底面 側面 比例 %

### 3 内容の取扱い

- (1) 内容の「**A**数と計算」の(1)のイについては、最大公約数や最小公倍数を形式的に求めることに偏ることなく、具体的な場面に即して取り扱うものとする。また、約数を調べる過程で素数について触れるものとする。
- (2) 内容の「**C**図形」の(1)のエについては、円周率は3.14を用いるものとする。
- (3) 内容の「**C**図形」の(2)のアについては、見取図や展開図をかくことを取り扱うものとする。
- (4) 内容の「**D**数量関係」の(3)については、歩合の表し方について触れるものとする。

## [第6学年]

### 1 目標

- (1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 円の面積及び角柱などの体積を求めることができるようにするとともに、速さについて理解し、求めることができるようにする。
- (3) 縮図や拡大図、対称な図形について理解し、図形についての理解を深める。
- (4) 比や比例について理解し、数量の関係の考察に関数の考えを用いることができるようにするとともに、文字を用いて式に表すことができるようにする。また、資料の散らばりを調べ統計的に考察することができるようにする。

### 2 内容

#### A 数と計算

- (1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。
  - ア 乗数や除数が整数や小数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が分数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。
  - イ 分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

ウ 分数の乗法及び除法についても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。

- (2) 小数及び分数の計算の能力を定着させ、それらを用いる能力を伸ばす。

#### B 量と測定

- (1) 身の回りにある形について、その概形をとらえ、およその面積などを求めることができるようにする。
- (2) 図形の面積を計算によって求めることができるようにする。
  - ア 円の面積の求め方を考えること。

(3) 図形の体積を計算によって求めることができるようにする。

ア 角柱及び円柱の体積の求め方を考えること。

(4) 速さについて理解し、求めることができるようにする。

(5) メートル法の単位の仕組みについて理解できるようにする。

### C 図形

(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解を深める。

ア 縮図や拡大図について理解すること。

イ 対称な図形について理解すること。

### D 数量関係

(1) 比について理解できるようにする。

(2) 伴って変わる二つの数量の関係を考察することができるようにする。

ア 比例の関係について理解すること。また、**式**、**表**、**グラフ**を用いてその特徴を調べること。

イ 比例の関係を用いて、問題を解決すること。

ウ 反比例の関係について知ること。

(3) 数量の関係を表す式についての理解を深め、式を用いることができるようにする。

ア 数量を表す言葉や□、△などの代わりに、 $a$ 、 $x$ などの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。

(4) 資料の平均や散らばりを調べ、統計的に考察したり表現したりすることができるようにする。

ア 資料の平均について知ること。

イ 度数分布を表す表やグラフについて知ること。

(5) 具体的な事柄について、起こり得る場合を順序よく整理して調べることができるようにする。

### 〔算数的活動〕

(1) 内容の「**A**数と計算」、「**B**量と測定」、「**C**図形」及び「**D**数量関係」に示す事項については、例えば、次のような算数的活動を通して指導するものとする。

ア 分数についての計算の意味や計算の仕方を、言葉、数、式、図、数直線を用いて考え、説明する活動

イ 身の回りで使われている量の単位を見付けたり、それがこれまでに学習した単位とどのような関係にあるかを調べたりする活動

ウ 身の回りから、縮図や拡大図、対称な図形を見付ける活動

エ 身の回りから、比例の関係にある二つの数量を見付けたり、比例の関係を用いて問題を解決したりする活動

### 〔用語・記号〕

線対称 点対称 :

## 3 内容の取扱い

(1) 内容の「**A**数と計算」の(1)については、逆数を用いて除法を乗法の計算としてみることや、整数や小数の乗法や除法を分数の場合の計算にまとめることも取り扱うものとする。

(2) 内容の「**B**量と測定」の(2)のアについては、円周率は3.14を用いるものとする。

### 第3 指導計画の作成と内容の取扱い

- 1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
  - (1) 第2の各学年の内容は、次の学年以降においても必要に応じて継続して指導すること。数量や図形についての基礎的な能力の習熟や維持を図るため、適宜練習の機会を設けて計画的に指導すること。また、学年間の指導内容を円滑に接続させるため、適切な反復による学習指導を進めるようにすること。
  - (2) 第2の各学年の内容の「A数と計算」、「B量と測定」、「C図形」及び「D数量関係」の間の指導の関連を図ること。
  - (3) 算数的活動は、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けたり、思考力、判断力、表現力等を高めたり、算数を学ぶことの楽しさや意義を実感したりするために、重要な役割を果たすものであることから、各学年の内容の「A数と計算」、「B量と測定」、「C図形」及び「D数量関係」に示す事項については、算数的活動を通して指導するようにすること。
  - (4) 第1章総則の第1の2及び第3章道德の第1に示す道德教育の目標に基づき、道德の時間などとの関連を考慮しながら、第3章道德の第2に示す内容について、算数科の特質に応じて適切な指導をすること。
- 2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。
  - (1) 数量や図形についての豊かな感覚を育てるとともに、およその大きさや形をとらえ、それらに基づいて適切に判断したり、能率的な処理の仕方を考え出したりすることができるようにすること。
  - (2) 思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、言葉、数、式、図、表、グラフを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの学習活動を積極的に取り入れるようにすること。
  - (3) 各学年の内容に示す〔用語・記号〕は、当該学年で取り上げる内容の程度や範囲を明確にするために示したものであり、その指導に当たっては、各学年の内容と密接に関連させて取り上げるようにし、それらを用いて表したり考えたりすることのよさが分かるようにすること。
  - (4) 筆算による計算の技能を確実に身に付けることを重視するとともに、目的に応じて計算の結果の見積りをして、計算の仕方や結果について適切に判断できるようにすること。また、低学年の「A数と計算」の指導に当たっては、そろばんや具体物などの教具を適宜用いて、数と計算についての意味の理解を深めるよう留意すること。
  - (5) 数量や図形についての感覚を豊かにしたり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりするなどのため、必要な場面においてコンピュータなどを適切に活用すること。

	A 数と式	B 図形
第1学年	<p><b>正の数・負の数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正負の数の必要性和意味 （数の集合と四則）（現行高校から）</li> <li>・正負の数の四則計算</li> </ul> <p><b>文字を用いた式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を用いることの必要性和意味</li> <li>・文字式の乗法と除法の表し方</li> <li>・一次式の加法と減法の計算</li> <li>・文字を用いた式に表すこと （不等式を用いた表現）（現行高校から一部）</li> </ul> <p><b>一元一次方程式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式及びその解の意味</li> <li>・等式の性質と一次方程式の解き方</li> <li>・一次方程式を活用すること （比例式）</li> </ul>	<p><b>平面図形</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な作図の方法とその活用</li> <li>・図形の移動（平行移動，対称移動，回転移動）</li> </ul> <p><b>空間図形</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直線や平面の位置関係</li> <li>・空間図形の構成と平面上の表現 （投影図）</li> <li>・扇形の弧の長さや面積，柱体や錐体及び球の表面積・体積 （球の表面積・体積）（現行高校から）</li> </ul>
第2学年	<p><b>文字を用いた式の四則計算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整式の加減，単項式の乗除の計算</li> <li>・文字を用いた式で表したり読み取ったりすること</li> <li>・目的に応じた式の変形</li> </ul> <p><b>連立二元一次方程式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二元一次方程式とその解の意味</li> <li>・連立方程式とその解の意味</li> <li>・連立方程式を解くことや活用すること</li> </ul>	<p><b>平面図形と平行線の性質</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平行線と角の性質</li> <li>・多角形の角の性質</li> </ul> <p><b>図形の合同</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形の合同と三角形の合同条件</li> <li>・証明の必要性和意味及びその方法</li> <li>・三角形や平行四辺形の基本的な性質</li> </ul>
第3学年	<p><b>平方根</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平方根の必要性和意味 （有理数・無理数）（現行高校から一部）</li> <li>・平方根を含む式の計算</li> <li>・平方根を用いること</li> </ul> <p><b>式の展開と因数分解</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式と多項式の乗法と除法の計算</li> <li>・簡単な式の展開や因数分解</li> <li>・文字を用いた式で数量関係をとらえること</li> </ul> <p><b>二次方程式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次方程式とその解の意味</li> <li>・二次方程式を解くこと （二次方程式の解の公式）（現行高校から）</li> <li>・二次方程式を活用すること</li> </ul>	<p><b>図形の相似</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形の相似と三角形の相似条件</li> <li>・図形の基本的な性質</li> <li>・平行線と線分の比</li> <li>・相似な図形の相似比と面積比・体積比 （相似な図形の面積比と体積比）（現行高校から）</li> <li>・相似な図形の性質を活用すること</li> </ul> <p><b>円の性質</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円周角と中心角の関係（証明，活用） （中2から移行） （円周角の定理の逆）（現行高校から）</li> </ul> <p><b>三平方の定理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三平方の定理とその証明</li> <li>・三平方の定理を活用すること</li> </ul>

C 関数	D 資料の活用	数学的活動
<p><b>比例，反比例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関数関係の意味（現行中2から）</li> <li>比例，反比例の意味</li> <li>座標の意味</li> <li>比例，反比例の特徴</li> <li>比例，反比例を用いること</li> </ul>	<p><b>資料のちらばりと代表値</b>（現行高校から）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや代表値の必要性や意味</li> <li>ヒストグラムや代表値を用いること（近似値や誤差などを含む）</li> </ul>	<p>ア 既習の数学を基にして，数や図形の性質などを見いだす活動</p> <p>イ 日常生活で数学を利用する活動</p> <p>ウ 数学的な表現を用いて，自分なりに説明する活動</p>
<p><b>一次関数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一次関数の関係</li> <li>一次関数の特徴</li> <li>二元一次方程式と関数</li> <li>一次関数を用いること</li> </ul>	<p><b>確率</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>確率の必要性と意味及び確率の求め方</li> <li>確率を用いること</li> </ul>	<p>ア 既習の数学を基にして，数や図形の性質などを見いだし，発展させる活動</p> <p>イ 日常生活や社会で数学を利用する活動</p> <p>ウ 数学的な表現を用いて，根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動</p>
<p><b>関数 <math>y = ax^2</math></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y = ax^2</math> の関係</li> <li>関数 <math>y = ax^2</math> の特徴</li> <li>関数 <math>y = ax^2</math> を用いること</li> <li>いろいろな事象と関数（現行高校から）</li> </ul>	<p><b>標本調査</b>（現行高校から）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査の必要性と意味</li> <li>標本調査で母集団の傾向をとらえ説明すること</li> </ul>	<p>ア 既習の数学を基にして，数や図形の性質などを見いだし，発展させる活動</p> <p>イ 日常生活や社会で数学を利用する活動</p> <p>ウ 数学的な表現を用いて，根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動</p>

- 知識・技能を活用して課題を解決するための思考力、判断力、表現力等の育成，言語活動の充実，学習習慣の確立等を規定。
- 教育基本法改正等を踏まえ，伝統や文化の継承・発展，公共の精神の尊重を道徳教育の目標に追加。
- 小学校の道徳教育では，集団宿泊活動等を通じ，基本的な生活習慣やきまり，善悪の判断，人間としてしてはならないことをしないことを重視することを規定。
- 体力の向上に加え，安全に関する指導や食育を規定。

### ① 教育課程編成の一般方針

- 教育基本法，学校教育法等に従い，教育課程を編成することを明確化。
- 知識・技能を活用して課題を解決するための思考力，判断力，表現力等の育成，言語活動の充実，学習習慣の確立等を規定。
- 道徳教育の目標に「伝統や文化」の継承・発展，「公共の精神」の尊重を追加。
- 小学校の道徳教育では，集団宿泊活動等を充実し，基本的な生活習慣やきまり，善悪の判断，人間としてしてはならないことをしないことを重視する旨規定。
- 体育・健康に関する指導は，児童の発達の段階を考慮すべき旨を規定。
- 安全に関する指導や食育について規定。

### ② 指導計画作成上の配慮事項

- 児童が学習の見通しを立てたり，振り返ったりする活動を計画的に取り入れることを規定。
- 障害のある児童等について，特別支援学校等の助言・援助を活用し，指導についての計画の作成等により障害の状態等に応じた指導内容等の一層の工夫を図るべき旨を規定。
- 文字入力など基本的な操作や情報モラルを身に付けるなど情報教育の充実について規定。

※ 学習指導要領に定める内容はすべての児童に指導するものであって，各学校においてこれに加えて指導することができる旨の規定を引き続き置くことを踏まえ，各教科における「…は扱わないものとする」といった歯止め規定は一部を除き削除・改正。

## 第 1 章 総 則

### 第 1 教育課程編成の一般方針

1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、児童の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び児童の心身の発達の段階や特性を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。

学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、児童に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。その際、児童の発達の段階を考慮して、児童の言語活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するよう配慮しなければならない。

2 学校における道徳教育は、道徳の時間を要<sup>かなめ</sup>として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳の時間はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童の発達の段階を考慮して、適切な指導を行わなければならない。

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来<sup>ひら</sup>を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うことを目標とする。

道徳教育を進めるに当たっては、教師と児童及び児童相互の人間関係を深めるとともに、児童が自己の生き方についての考えを深め、家庭や地域社会との連携を図りながら、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動などの豊かな体験を通して児童の内面に根ざした道徳性の育成が図られるよう配慮しなければならない。その際、特に児童が基本的な生活習慣、社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、人間としてしてはならないことをしないようにすることなどに配慮しなければならない。

3 学校における体育・健康に関する指導は、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科の時間はもとより、家庭科、特別活動などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めることとする。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮しなければならない。

## 第2 内容等の取扱いに関する共通的事項

- 1 第2章以下に示す各教科、道徳、外国語活動及び特別活動の内容に関する事項は、特に示す場合を除き、いずれの学校においても取り扱わなければならない。
- 2 学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。また、第2章以下に示す内容の取扱いのうち内容の範囲や程度等を示す事項は、すべての児童に対して指導するものとする内容の範囲や程度等を示したものであり、学校において特に必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができる。ただし、これらの場合には、第2章以下に示す各教科、道徳、外国語活動及び特別活動並びに各学年の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担過重となったりすることのないようにしなければならない。
- 3 第2章以下に示す各教科、道徳、外国語活動及び特別活動並びに各学年の内容に掲げる事項の順序は、特に示す場合を除き、指導の順序を示すものではないので、学校においては、その取扱いについて適切な工夫を加えるものとする。
- 4 学年の目標及び内容を2学年まとめて示した教科及び外国語活動の内容は、2学年間かけて指導する事項を示したものである。各学校においては、これらの事項を地域や学校及び児童の実態に応じ、2学年間を見通して計画的に指導することとし、特に示す場合を除き、いずれかの学年に分けて、又はいずれの学年においても指導するものとする。
- 5 学校において2以上の学年の児童で編制する学級について特に必要がある場合には、各教科、道徳及び外国語活動の目標の達成に支障のない範囲内で、各教科、道徳及び外国語活動の目標及び内容について学年別の順序によらないことができる。

## 第3 授業時数等の取扱い

- 1 各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動（以下「各教科等」という。ただし、1及び3において、特別活動については学級活動（学校給食に係るものを除く。）に限る。）の授業は、年間35週（第1学年については34週）以上にわたって行うよう計画し、週当たりの授業時数が児童の負担過重にならないようにするものとする。ただし、各教科等や学習活動の特質に応じ効果的な場合には、夏季、冬季、学年末等の休業日の期間に授業日を設定する場合を含め、これらの授業を特定の期間に行うことができる。なお、給食、休憩などの時間については、学校において工夫を加え、適切に定めるものとする。
- 2 特別活動の授業のうち、児童会活動、クラブ活動及び学校行事については、それらの内容に応じ、年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てるものとする。
- 3 各教科等のそれぞれの授業の1単位時間は、各学校において、各教科等の年間授業時数を確保しつつ、児童の発達の段階及び各教科等や学習活動の特質を考慮して適切に定めるものとする。
- 4 各学校においては、地域や学校及び児童の実態、各教科等や学習活動の特質等に応じて、創意工夫を生かし時間割を弾力的に編成することができる。
- 5 総合的な学習の時間における学習活動により、特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動をもって相当する特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替えることができる。



## 第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

- 1 各学校においては、次の事項に配慮しながら、学校の創意工夫を生かし、全体として、調和のとれた具体的な指導計画を作成するものとする。
  - (1) 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。
  - (2) 学年の目標及び内容を2学年まとめて示した教科及び外国語活動については、当該学年間を見通して、地域や学校及び児童の実態に応じ、児童の発達の段階を考慮しつつ、効果的、段階的に指導するようにすること。
  - (3) 各教科の各学年の指導内容については、そのまとめ方や重点の置き方に適切な工夫を加え、効果的な指導ができるようにすること。
  - (4) 児童の実態等を考慮し、指導の効果を高めるため、合科的・関連的な指導を進めること。
- 2 以上のほか、次の事項に配慮するものとする。
  - (1) 各教科等の指導に当たっては、児童の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、児童の言語活動を充実すること。
  - (2) 各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。
  - (3) 日ごろから学級経営の充実を図り、教師と児童の信頼関係及び児童相互の好ましい人間関係を育てるとともに児童理解を深め、生徒指導の充実を図ること。
  - (4) 各教科等の指導に当たっては、児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるよう工夫すること。
  - (5) 各教科等の指導に当たっては、児童が学習課題や活動を選択したり、自らの将来について考えたりする機会を設けるなど工夫すること。
  - (6) 各教科等の指導に当たっては、児童が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や児童の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。
  - (7) 障害のある児童などについては、特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ、例えば指導についての計画又は家庭や医療、福祉等の業務を行う関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成することなどにより、個々の児童の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。特に、特別支援学級又は通級による指導については、教師間の連携に努め、効果的な指導を行うこと。
  - (8) 海外から帰国した児童などについては、学校生活への適応を図るとともに、外国における生活経験を生かすなどの適切な指導を行うこと。
  - (9) 各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、適切に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

- (10) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。
- (11) 児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価し、指導の改善を行い学習意欲の向上に生かすようにすること。
- (12) 学校がその目的を達成するため、地域や学校の実態等に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を深めること。また、小学校間、幼稚園や保育所、中学校及び特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高齢者などとの交流の機会を設けること。

## 【小・中学校総合的な学習の時間 改訂のポイント】

平成 20 年 2 月 15 日公表資料より

- 総合的な学習の時間においては、教科の枠を超えた横断的・総合的な学習、探究的な学習を行うものであることをより明確化。
- 学校種間の重複を避け、発達の段階に応じた取組を促すため、小学校で地域の人々の暮らし、伝統と文化についての学習活動、中学校で職業や自己の将来に関する学習活動を例示として追加。
- 総合的な学習の時間の教育課程における位置付けを明確化し、その指導を充実。(総則から取り出し、新たに章立て)

### (1) 学習内容の改善・充実

#### ① 構成の見直し

総則から取り出し、新たに章立てする。

#### ② 小・中学校共通

☆ 目標に、探究的な学習を明示

- 各学校は社会や日常生活とのかかわりを重視して目標及び内容を設定
- 育てようとする資質や能力及び態度についての、視点を例示

#### ③ 小学校

- 地域の人々の暮らし、伝統と文化についての学習活動を新たに例示

#### ④ 中学校

- 職業や自己の将来に関する学習活動を新たに例示

### (2) 言語力の育成・活用の重視

- 他者と協同して問題を解決する学習活動、言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動を新たに規定

- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成と、言語・文化についての理解を深めることをねらいとして、高学年に導入。
- 身近なコミュニケーションの場面（挨拶・買い物・食事・子供の遊び等）について音声面を中心に A L T 等とコミュニケーション活動を行い、コミュニケーション能力の素地を育成。（中学校における外国語教育とあわせて、外国語教育を充実）
- 日本と外国の言語や文化の違いを知り、国語や我が国の文化についても理解を深める指導を充実。

### ① 目 標

「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。」

### ② 活動の内容

#### （コミュニケーション関係）

- ◎ 外国語を用いたコミュニケーションの楽しさを体験
- 児童にとって身近なコミュニケーションの場面を設定。（挨拶、自己紹介、買い物、食事、学校での学習や活動、地域の行事、子供の遊びなどを例示）
- コミュニケーションの体験は、音声面を中心とする。
- 英語を取り扱うことを原則とする。

#### （言語・文化関係）

- ◎ 外国語と日本語との違いや、外国と日本の生活や習慣などの違いを知る
- 外国語活動を通して、外国語や外国の文化のみならず、国語や我が国の文化についても理解を深めることができるようにする。

### ③ 指導体制等

- 授業の実施にあたっては、ネイティブ・スピーカーの活用に努めるとともに、地域の実情に応じて外国語に堪能な地域の人々の協力を得るなど、指導体制を充実。
- CD、DVDなどの視聴覚教材を積極的に活用



明日の世代に  
**啓林館**

本社	〒543-0052	大阪市天王寺区大道4丁目3-25	TEL.06-6779-1531
札幌支社	〒003-0005	札幌市白石区東札幌5条2丁目6-1	TEL.011-842-8595
東京支社	〒113-0023	東京都文京区向丘2丁目3-10	TEL.03-3814-2151
東海支社	〒461-0004	名古屋市東区葵1丁目4-34 双栄ビル2F	TEL.052-935-2585
広島支社	〒732-0052	広島市東区光町1丁目7-11 広島CDビル5F	TEL.082-261-7246
九州支社	〒810-0022	福岡市中央区薬院1丁目5-6 ハイヒルズビル5F	TEL.092-725-6677